

# 一般質問通告書

平成30年第2回議会定例会（平成30年6月）

---

## 質問者（9名）

---

- ① 今井吉男
  - ② 福井源乃介
  - ③ 宗村 勝
  - ④ 西 文男
  - ⑤ 中野賢一
  - ⑥ 大藏哲治
  - ⑦ 外山利章
  - ⑧ 奥山直武
  - ⑨ 根釜昭一郎
- 



知名町議会

通告順	議席 9 番	今 井 吉 男	平成30年 6月 日
1			時 分～ 時 分
<p>沖永良部与論地区広域事務組合への本町負担金（平成30年度当初予算で1億3,000万円）に見合う役職配置について</p>			
<p>① 沖永良部与論地区広域事務組合の署長は、3月まで知名町採用職員でしたが、4月1日付け人事異動により、新署長に和泊町採用職員が昇格、その結果、消防長、総務課長、署長、介護保険事務局次長（事務局長は消防長が兼任）の役職は、和泊町採用職員が独占する人事となった。</p> <p>知名町採用職員にも優秀な人材がいるにもかかわらず、バランスを欠く役職配置だと考えます。来年度は負担金（平成30年度当初予算で1億3,000万円）に見合う役員配置を強く要請する。</p> <p>参考までに、沖永良部与論地区広域事務組合は3町（知名町、和泊町、与論町）で構成され、これまで役職においては、3町のバランスが確保されてきました。管理者（2年交代）である今井町長に伺う。</p> <p>② 広域事務組合職員の人件費は、予算総額の実に82%を占めている。増加傾向にある広域事務組合の人件費を抑制し、町消防団員の出動手当等の引き上げはできないか。</p> <p>③ 現在、社会問題となっている、いじめやパワーハラスメント（パワハラ）の予防策の一環として、定年退職まで消防署勤務とせず、平成27年度まで実施していた構成町との人事交流の再開はできないか。</p>			

× ㄟ

A large rectangular area with horizontal dashed lines, intended for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page.

通告順	議席10番	福井源乃介	平成30年 6月 日
2			時 分～ 時 分
<b>1. 知名漁港の製氷施設（製氷機器）の更新について</b>			
<p>知名漁港の製氷施設は、設置から25年以上が経過し、老朽化による度重なる故障のため、現在閉鎖されています。</p> <p>漁業者や多くの町民が一番不便を感じていることは、町内で大量の氷を格安で購入できないことである。わざわざ和泊漁港まで買いに行き、そのついでにドラッグストアやAコープなどの量販店に立ち寄る方もいる。町民の不便を解消するのが行政と議会の最大の責務であり、ふるさとまちづくり基金等を取り崩しても、町単独で早急に対処すべきではありませんか。</p>			
<b>2. 出産祝い金制度の拡充について</b>			
<p>本町の出産祝い金制度は、出生率2以上を考慮し、第3子・第4子・第5子・・・と、産んでもらう目的で第3子からの支給となっています。このことは堅持し、今後も第3子から1子につき10万円（出生時5万円・小学校入学時5万円）を、町内共通の商品券で支給する方向で検討することを提案します。また、保育料の無料化・半額助成等も第3子からとすることで、政策効果が一段と高まります。</p> <p>平成31年度から適用できるよう、制度の拡充・法整備を早急に図るべきではありませんか。</p>			
<b>3. 町道知名新城線（上城小学校～新城間）の改良・側溝整備について</b>			
<p>町道知名新城線の大山自衛隊基地～上城小学校間については、舗装打ち替えが年次的に行われ道路環境が改善されます。しかし、上城小学校～新城間についての計画がなく、再三に渡って要望しているところであります。</p> <p>交通や通学路の安心安全を確保する為、上城小学校～新城間の改良・側溝整備の計画策定、早期実現を図るべきではありませんか。</p>			

#### 4. フラワーロードプロジェクト構想の推進について

観光客の「花の島・沖永良部島」のイメージは、色とりどりの花が咲き誇る楽園である。フラワーロードプロジェクト構想は、各集落の道路沿いや空き地を利用した花いっぱい運動であります。

全町的な取り組みにするため、フラワーロードプロジェクトを強力に推進してもらいたい。また、大山展望台周辺や野営場テニスコート跡地、さらにはステージ側一帯をフラワーパーク化して緋寒桜並木と連動した「花の島公園計画」が必要ではありませんか。

#### 5. 町民総兼業農家構想の推進について

町民総兼業農家構想は、地産地消・自給自足・特産品開発等を推進するための方策であります。

家庭菜園の普及拡大や自家生産野菜の出荷など、通販全盛の今こそ声高に推進すべきではありませんか。外にじゃぶじゃぶお金を流すのではなく、島の中でお金が回る仕組みを考えていく必要があります。

メモ

通告順	議席6番	宗村 勝	平成30年 6月 日
3			時 分～ 時 分
<b>1. 農作業時における農機具による事故防止について</b>			
<p>農作業における農機具による事故が後を絶たない状況にある。徹底した教育や指導等をして悲惨な事故防止を図るべきではないか。</p>			
<b>2. 通学路の防犯灯設置について</b>			
<p>小学生・中学生・高校生が通学に利用する道路に街路灯（防犯灯）の設置がされていない道路が数多くあると感じます。子ども達の安全の為に早期に街路灯（防犯灯）の設置が必要不可欠である。</p>			
<b>3. 農業振興について</b>			
<p>農業生産に欠かせない化学肥料の高騰や生産物の価格低迷により農家経営が逼迫しております。沖永良部農業開発組合による有機肥料や液肥等を補助し安価で農家が導入できるようにして、土作り政策を進め所得増進をすべきではないか。</p>			

× ㄗ

通告順	議席5番	西 文 男	平成30年 6月 日
4			時 分～ 時 分

## 1. ふるさと納税について

- ① 現在のふるさと納税者数、及び金額はどれぐらいになっているか。
- ② ふるさと納税者への返礼品等はどうなっているか。
- ③ ふるさと納税の活用について、町のどの部分に利用されているか。
- ④ ふるさと納税についての、今後の展開について町はどのように考えているか。

## 2. 第3正名池について

- ① 第3正名池の貯水方法はどのような方法で貯水しているか。
- ② 老朽化した第3正名池の改修工事は出来ないか。

× ㄗ

通告順	議席 8 番	中 野 賢 一	平成 30 年 6 月 日
5			時 分 ~ 時 分

## 1. 民間資金活用事業（P F I）について

日本では、平成 11 年 7 月に行財政の効率化と、官民対等な立場での事業契約の締結により、民間の能力を最大限に引き出す目的などから「民間資金等の活用による公共施設等の促進に関する法律」（平成 11 年法律第 117 号・P F I 法）が施行され、P F I が本格的に導入された。

そこで、P F I に関する下記の 6 項目について伺います。

- ① 国庫補助金の交付が予定されている事業は。
- ② 知名町においての P F I 事業の予定はないか。
- ③ P F I 事業では国庫補助金はどうなるのか。
- ④ 従来 of 公共事業と同じように補助金は交付されるのか。
- ⑤ どのようなものに補助金が交付されるのか。
- ⑥ P F I 事業では、地方交付税はどうなるのか。

## 2. L E D 推進事業について

東日本大震災以降、全国的に省エネ意識と防災意識が加速的に向上し、特に自治体での省エネ及び防犯への取り組みが強化されています。

昨今では、民間の資金が活用できるリース事業や E S C O 事業に取り組めるようになり、街路灯・道路灯・防犯灯を L E D 化する自治体が増えています。

そのことを踏まえ下記の 3 点について伺います。

1. 知名町内の街路灯・道路灯・防犯灯のそれぞれの個数はいくつか。
2. 街路灯・道路灯・防犯灯 L E D 化の計画はないのか。
3. 環境省では、平成 24 年度から小規模地方公共団体（人口規模 15 万人未満）における L E D 街路灯等導入促進事業（単年度事業）を公募していますが、知名町での事業計画はあるか。
  - ① L E D 照明導入調査事業（上限 800 万円）
    - ・補助対象：小規模地方公共団体 リース方式による導入
  - ② L E D 照明導入補助事業
    - ・補助対象：交付要綱第 4 条第 2 項第 2 号に定められた民間事業者
    - ・取り付け工事に要する経費の 1/4（上限 1,500 万円）
    - ・L E D 照明の取り付け工事は、可能な限り地元業者の受注に配慮

### 3. 知名町の公共施設（建築物）等について

耐震基準は、建築物が地震の震動に耐え得る能力を定めるもので、関東大震災の翌年 1924 年（大正 13 年）に、世界に先駆けて日本で施行されました。また、1981 年（昭和 56 年）に耐震基準が大きく改正され、建物の倒壊を防ぐだけでなく、建築物内の人間の安全を確保することに主眼がおかれるようになった。

新耐震基準以降の建物は、中地震に対して損傷しないことに加えて、大地震に対して倒壊しないことや、平面と立面にバランスよくすること等が要求されている。

以上のことを踏まえ、下記の 3 点について伺います。

- ① 知名町の公共（建築物）施設等で昭和 56 年 6 月 1 日以前に出来た建物は。
- ② 昭和 56 年以前に建てられた公共（建築物）施設等の耐震診断報告書はどのようなになっているか。
- ③ 未（耐震診断報告書）公共（建築物）施設の今後の対応は。

### 4. 集落の活性化について

平成 27 年～29 年まで、防災拠点施設整備事業で各集落の公民館の整備も終わり、各集落の区長も喜んでいると思います。

全国的な人口減少・少子化の進展は、知名町においても例外ではなく、集落においては老人クラブ会長や婦人会長のなり手がおらず、老人会・婦人会が休止状態に追い込まれている集落もあります。特に小さな集落においては、集落の維持活動さえ厳しい状況にあるが、今後、町としてどのような集落の活性化を考えているのか伺います。

メモ

通告順	議席7番	大 藏 哲 治	平成30年 6月 日
6			時 分～ 時 分
<p>本年、第1回知名町議会定例会における町長の施政方針から、いくつか取り上げ質問いたします。</p>			
<p>1. 新庁舎建設について</p>			
<p>これまでこの件については、度々質問し答弁をもらっていますが、現在検討委員会で協議中ではありますが、これまで協議した事案と、まとまった事の説明を、今後検討委員会でまとまった事は議会へ報告する事を要望します。</p>			
<p>2. 老朽化した公共施設の整備について</p>			
<p>① 給食センターの建て替えは、地盤の軟弱さを理由に変更されたが、その後どうなっているのか。</p> <p>② 養護老人ホーム「長寿園」は昨年度から、「長寿園」の在り方検討委員会を充足し検討中との事だが、『民間にできる事は民間に』という精神で民間に委ねる事も視野に入れ検討しているのか。</p> <p>③ 田水団地は第5次知名町総合振興計画（事業計画書）においては、平成29年度着工となっている。知名C団地が完了するまでずれ込むと推測するが、知名C団地は何年度完了予定か。また、田水団地の整備はこれから検討・計画に入ると考えるが、高齢化、Iターン・Uターン者受け入れ等を勘案した計画を要望します。</p> <p>④ 公共施設整備について私見を交えながら伺いましたが、いずれも広い敷地を必要とする事案であります。施政方針においても総合的な見地から「再整備計画」に取り組む姿勢を示していますが、どのような方策を考えているのか。</p>			

### 3. 桑茶事業の見直しを

桑茶事業は経営的に一向に改善の兆しがみられない。業者との取引の話もあるものの成果をみたものはないとうかがう。これこそ『民間にできる事は民間に』と考えるがどうか。

### 4. バレイショ生産者に支援を

バレイショの今年の市場価格は、稀にみる低価格で推移し、生産者の皆様は疲弊しております。そこで、支援する為にも現在、さとうきび生産者に堆肥の半額助成がなされているが、バレイショ生産者にも助成事業を拡げる事はできないか。また、行政として他に実施できる方策はないか。

メモ

通告順	議席 2 番	外 山 利 章	平成30年 6月 日
7			時 分～ 時 分
<b>1. 庁舎建設計画について</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新庁舎建設に向け、有利な事業（市町村役場機能緊急保全事業）を活用するには、時間的な猶予はないと思われるが、具体的なタイムスケジュールは。</li> <li>② 公共施設の適正化の観点から新庁舎の建設に合わせ機能の集約が必要だと考えるが施設の統合、合併は計画されているか。</li> <li>③ 新庁舎は町の将来すすむべき方向性を示す、シンボリックな施設となるべきだと考えるが、どのような機能を持たせるのか。</li> </ul>			
<b>2. 園芸振興について</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 今期のジャガイモの販売は近年にない安値で推移し、園芸農家にとって非常に厳しい年となったが、その要因分析は行われているか。</li> <li>② 市場価値を高めるためにはブランド力の向上が必要だと考えるが、「春のささやき」の知名度アップに向けた町の取り組みは。</li> <li>③ 若手農家には市場ニーズを捉えた新品目導入を目指す動きも見られるが、町としてはどのようにバックアップしていくのか。</li> </ul>			
<b>3. 地域資源活用にむけた取り組みについて</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 現在多くの生鮮品が島外から購入されているが、栽培、採取可能な野菜や海産物を島内で生産、販売すること（食の自足）で島内の経済循環が促進され、島民の所得向上に繋がると考えられるが、そのための施策は行われているか。</li> <li>② 島での食の自足を促すために、農産物や海産物を販売する直売所、カフェレストラン、加工施設などの複合施設を建設し、新たな賑わいの場の創出に繋がってはと考えるがどうか。</li> </ul>			

メ モ

通告順	議席11番	奥山 直武	平成30年 6月 日
8			時 分～ 時 分
<b>1. 福祉関連について</b>			
<p>① 障がい者の皆さんへの役場窓口の対応は親切丁寧に行われているのか。</p> <p>② 視覚障がい者へのバス停でのバス乗り入れの際の運転手の対応は。</p> <p>③ 鹿児島市で長期入院する離島やへき地の子どもと、家族のための宿泊施設「鹿児島島ファミリーハウス」が開設されて10年になるが町としてのかかわりはあるのか。又、本町から利用された方は何人ぐらいか。</p> <p>④ 共稼ぎ夫婦の子どもが風邪をひいて保育所を休んだ時、隣町の町田医院（町民だけ）は、風邪をひいた子どもを預かっています。働いているお母さん達はすごく助かっていますが、我が町としては医療機関とそのような連携はとれないか。</p>			
<b>2. 教育行政について</b>			
<p>① 3月の第1回議会定例会で質問しました、ある学校での病気休暇をとられた教職員や保護者に対して、どのように対応したか。</p> <p>② その後、学校、病院の担当医、保健福祉課との連携はとれているのか。今後、このような事態が起きた場合にはどう対処するのか。</p>			
<b>3. 行政全般について</b>			
<p>農業に従事している若者や農業に従事しながら、子育てに奮闘している若い夫婦世帯が地元に住宅がなく通勤農業をしている状況である。</p> <p>後継者の多い芦清良集落、もしくは下平川校区内に農業住宅を建設できないか。また、芦清良農地保全協会から要望書が提出されましたが町長の考えは。</p>			

× ㄗ

通告順	議席3番	根釜 昭一郎	平成30年 6月 日
9			時 分～ 時 分

## 人口減少問題について

少子高齢化に伴う人口減少問題につきましては、本町もかなり危機的状況にあると認識します。町長におかれましても「ストップ ザ 人口減少」を掲げています。関連問題についていくつか伺います。

- ① 町としても人口推移は試算していると思うが、本町においては4月に一時的とはいえ、6,000人を下回る現状があります。これは、想定内の人口減なのかどうかを伺います。
- ② 急激な人口減少と感じられるこの数年ですが、何らかの対策を講じないと町財政にも少なからず影響が出てくると思うが、現状の自然減でいくと2020年にはその影響はどの程度と試算しているのか。
- ③ 雇用創出の一環としての企業誘致や、時代のニーズに合った新しい働き方・新しい職業の創設は考えていないのか。
- ④ 町として継続的な結婚支援・婚活支援事業は計画していないのか。
- ⑤ 国としても人口減少対策として「地方創生」には、まだまだ力を入れていくと思われるが、本町においては、地域活性化に向けての体制としては、かなり弱いと感じます。人口減少に抗い、魅力あるまちづくりに向けて強い体制づくりが一刻も早く必要だと考えるがどのように考えているのか。

× ㄗ